

# ギャラリー恵風 ニュースレター

## 2011.11

秋もいよいよ深まり、京の町も観光客で華やいています。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

恵風にて開催します11月の展覧会をご案内致します。織細で美しい堀香子さんの陶立休展(1F)と濱田弘明さん、金光男さん、西出元さんによる息もピッタリ、センスの光る「風～明日への軌跡展」(2F)は6日まで開催しています。8日から1階は、今年ラストの若手作家連続企画 Vol.8 として新垣佳子さんをご紹介します。自然の木々と光をモチーフに、奔放な筆さばき、瑞々しい色彩からは生命の躍動を感じさせます。今後の成長を期待し、温かいエールをお願いします。

2階はこの秋のハイライト、川村悦子さん(油彩)と清水六兵衛さん(陶)のコラボレーション。お二人とも、凛とした空気感漂う、気品ある作品を常に発表されていますが、今回は「茶の空間」と題して、どのような空間を見せていただけるのでしょうか。

22日から1階で、河井菜摘さんの個展です。漆の塗面にピンホール写真を写すという新しい表現に挑戦しています。うす暗い空間の中で目が慣れてくると、繊細な作品が浮かび上がり興味をそそります。

2階は、喜多川七重さんの染色展です。酸性染料、天然染料を使用し、蠟染・糊染の技法で染色の可能性を展開。京都で5年ぶりの個展。豊かな色と形をお楽しみください。充実した展覧会が次々続きます。みなさま、何卒ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

敬具 野村恵子

## 1F

11月8日(火) - 11月20日(日) ※11/14(月) 休廊

若手作家連続企画展 Vol.8

新垣 佳子 個展

- 狭間の風景 -

木や林といった自然の風景を描いています。

私は山や森の中に入って自然の中にたった時、何とも言えない落ち着きを感じます。それは自然に対して何か圧倒的な存在を感じるからです。自然は時に厳しく私達の生活を脅かす存在にもなります。けれど私は厳しくも優しくもある自然に畏敬の念を感じずにはおられません。私には手の届かない大きな存在を描きたいと思いながら絵を描いています。今回は初めての個展です。ぜひご高覧ください。(新垣)

## 2F

11月8日(火) - 11月20日(日) ※11/14(月) 休廊

川村 悦子 × 清水 六兵衛 二人展『茶の空間』

絵画は常に多用な解釈ができる。蓮や葉牡丹を描きながら、限られた表現のなかで繰り返し描き、諦めず、切れ切れのイメージを繋ぎ、粘り強く紡ぐ。自分が自分の味方になり、制作への不安に動揺しない、というような事がいつも頭の片隅にある。清水さんとの二人展は、薄暗闇の中を力強い味方に会ったようで嬉しい。いい時空間にしたいと思う。(川村)

川村 悦子 KAWAMURA Etsuko

1980年 京都市立芸術大学西洋画専攻科修了  
1987年 東京セントラル美術館油絵大賞展優秀賞  
1990年 京都市芸術新人賞  
1994年 大阪市咲くやこの花賞  
1999年 タカシマヤ美術賞  
2004年 文化庁海外派遣研修ミラノ滞  
2009年 真澄寺別院流瀧院襖絵制作  
2010年 京都府文化功労賞  
現在 京都造形芸術大学教授

新垣佳子 Shingaki Yoshiko

1986年兵庫県生まれ

現在 京都造形芸術大学大学院 修士課程 芸術表現専攻在籍

2010 Moun 展 (tain) (喫茶やま道 / 静岡)

第19回位置展 (ルネッサンス・スクエア / 姫路)

ISE cultural foundation 日米美術学生展

(Ise Cultural Foundation NY gallery / ニューヨーク)

2011 第一回贈展 (ギャラリー恵風 / 京都)

京展 入選

Gion Morisyo-exhibition- 谷崎潤一郎の愛した宿にて  
-それぞれの「隈」を考える- (旅館「ぎおん森庄」 / 京都)

面で構成していく制作手法の中で出会う、様々な形のバリエーションと面白さ、そして、空間をシャープなエッジで切り取ることから生まれる緊張感を求めてきました。茶道の道具に形を借りて作ったものたちが茶室とは異なる空間の中でいかに存在を主張できるのか、茶室とは違う関わり方があるのか。川村さんとのコラボレーションに新しい可能性が見つけ出せればと思っています。(清水)

清水 六兵衛 KIYOMIZU Rokubey

1954 京都市生まれ

早稲田大学理工学部建築学科を卒業後、陶芸を始める

1983 朝日陶芸展'83でグランプリ受賞

1988 京都市芸術新人賞 受賞

1993 京都府文化賞 奨励賞 受賞

2000 江戸後期より続く清水六兵衛家の八代目を継ぐ

2005 中部国際空港ターミナルビルに作品設置

日本陶磁協会賞 受賞

現在 京都造形芸術大学 教授

国際陶芸アカデミー 会員

# 1F

11月22日(火) - 12月4日(日) ※11/28(月) 休廊

## 河井 菜摘 個展 (漆)

- まばゆい影 -

ピンホールカメラを用いて漆の塗面に光を写す。

漆黒の上に展開される光景は繊細な明暗をしている。

見えにくいから見ようとしたり、隠そうとすることで余計に際立って見えてしまうことはよくあって、その閉じた光と影をずっと見つめていたくなる。(河井)

河井 菜摘 KAWAI Natsumi

1984年 大阪生まれ

2007年 京都市立芸術大学美術学部工芸科漆工専攻卒業

2009年 京都市立芸術大学院美術研究科漆工専攻卒業

2008 個展“漆芸展”(ギャラリーすずき)

2009 大学院市長賞 受賞

2009 グループ展“微光の描写”(京都芸術センター)

2010 個展“残像”(立体ギャラリー射手座)

# 2F

11月22日(火) - 12月4日(日) ※11/28(月) 休廊

## 喜多川 七重 染色展

ラ クロア  
- La croix (十字架) -

暴力的な天災や人災を前にしても、私達は逃れることも出来ず、  
すがれる具体的な物も与えられていない。

へばりつく無力感や虚脱感が重すぎても、命の本来は私達の歩み  
を止める事を許さない。

互いに背負っている荷物を軽くする事は到底に出来そうにない  
が、「一時の休息」と感じられる空間を作り出せば・・・と願  
いながら制作した。(喜多川)

喜多川 七重 KITAGAWA Nanae

1996年：京都精華大学大学院染織専攻終了

第6回染・清流展／京都市

(以後、同第8回・16回展を除き出品)

2003年：京都府美術工芸新鋭選抜展優秀賞

2006年：Inharmonic Tone 花と染それぞれの表現展／東京都

2007年：染色の領域 vol.1 彷徨展／京都市

2010年：平成21年度京都府文化賞奨励賞

近現代染色の展開と現在展／つくば市

その他：個展・グループ展

## 今後のスケジュール

### ◆1F ギャラリー

12/6 ~ 12/11 岡本匡史 展

12/13 ~ 12/25 小池一範 展

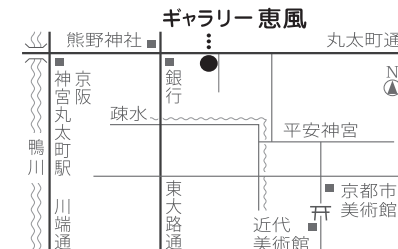
### ◆2F ギャラリー

12/6 ~ 12/11 西澤康子 展

12/13 ~ 12/25 漆の飾り 展  
安東智香 栗本夏樹 佐々木友恵

※12/26 ~ 1/10 冬季休廊

## アクセス



市バス 熊野神社前 下車すぐ・京阪神宮丸太町駅より  
徒歩5分・京都市美術館より徒歩7分  
OPEN: 12:00~19:00 (最終日 18:00 まで)  
月曜休廊

発行：ギャラリー恵風

発行日：2011.10.23



〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL: 075-771-1011 FAX: 075-771-0358

E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp

URL: <http://keifu.blog86.fc2.com>